

令和6年2月15日

報道機関各位

長岡市立中央図書館長



江戸時代に長岡でも焼かれていた西洋菓子の壮大な歴史を学ぶ！ 『「カステラ」と「マドレーヌ」～和の心を持つ 西洋菓子物語～』を開催

このたび、多くの年代層に親しまれている西洋菓子を切り口に日本の文化を学び、関連する多くの本に触れ、本に親しみがもてるよう文化講座を開催します。

今回のお話の主役は「カステラ」と「マドレーヌ」。講師には、長岡市在住の菓子文化研究者である溝口政子さんをお招きし、なぜ2つの西洋菓子が日本でこれほど愛されてきたかなどについて市民向けにお話をさせていただきます。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ周知にご協力いただくとともに、当日は取材くださるようお願いいたします。

文化講座「カステラ」と「マドレーヌ」～和の心を持つ西洋菓子物語～

- | | |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 日 時 | 3月2日（土）午後2時～3時30分
（開場：午後1時30分） |
| 2 会 場 | 長岡市立中央図書館2階 講堂（長岡市学校町1-2-2） |
| 3 講 師 | 溝口 政子さん（菓子文化研究者） |
| 4 内 容 | 安土桃山時代にスペイン・ポルトガルより伝わった「カステラ」。明治時代以降に長岡はもちろん、各地で焼かれるようになった日本独自の菊型「マドレーヌ」。2つの西洋菓子の深いつながりに注目し、なぜ「カステラ」と「マドレーヌ」が日本でこれほど愛されてきたのか、その謎をわかりやすく解明していただきます。 |
| 5 定 員 | 高校生以上 50人（先着・入場無料） |
| 6 申し込み | 開催当日までに、中央図書館窓口・電話（休館日を除く）、図書館ホームページ専用フォーム（当日午前8時30分まで）から
専用フォーム： https://logofom.jp/form/P5EF/471213 |

問い合わせ 中央図書館 梅沢
TEL 0258-32-0658

「カステラ」と「マドレーヌ」

～和の心を持つ西洋菓子物語～



図版左から：カステラのルーツ「パン・デ・ロー」写真2点、長岡市歴史文書館所蔵「明治十八年菓子製造下帳」より「かすていら」

期 日：令和6年3月2日（土）

時 間：午後2時～午後3時30分（開場：午後1時30分から）

安土桃山時代にスペイン・ポルトガルより伝わった「カステラ」。明治時代以降に長岡はもちろん、各地で焼かれるようになった日本独自の菊型「マドレーヌ」。

2つの西洋菓子の深いつながりに注目し、なぜ「カステラ」と「マドレーヌ」が日本でこれほど愛されてきたのか、その謎をわかりやすく解明していただきます。

ぜひ、お気軽にお申込みください。

講 師：溝口 政子 さん（菓子文化研究家）

会 場：中央図書館2階 講堂

対 象：高校生以上

定 員：50人（先着）

参加費：無料

**申込み：2月9日（金）午前9時30分から
中央図書館窓口・電話（休館日を除く）
またはホームページで受付**

※一時保育（生後6か月以上の未就学児）の希望者は
2月20日（火）まで窓口・電話で受付（先着3人）



マドレーヌ7種
写真は3点とも溝口政子さん撮影

主催・問い合わせ：長岡市立中央図書館

長岡市学校町 1-2-2 TEL: 0258-32-0658



お申込みはこちらから